

前回の防災通信 No.24 号では、県ドリームハイツの8階、11階、14階建、それぞれの消火設備について紹介致しました。

今回の No.25 号ではライフラインに関わる「戸塚区が震度5強以上の地震発生時に於ける階段・班の安全確認とトイレ使用可否確認方法」を中心に紹介します。

震度5強以上の地震発生時トイレの使用確認方法については毎回防災訓練で色水を流して確認しています。しかし、実際に震度5強以上の地震が発生した時に誰がどの様に対応するかを決めておく必要があります。地震が発生した時には、階段・班の協力体制が不可欠です。その為にはそれぞれの階段・班での話し合いによって、役割を確認しておく必要があります。

今回の防災通信は、その役割について紹介します。ハイツ住民皆で考えて、より良くしていきましょう。

1) 先ずは階段・班で安全確認を行う(所要時間:25~30分)

- ① 戸塚区で震度5強以上の地震発生を知る(防災マニュアル 1,2 に従って行動して下さい)
- ② 自宅の安全が確認出来たら、「避難済」札を玄関扉のエレベーター側に貼って、いっとき避難場所に階段で避難する(地震が収まってもエレベーターは使用しない)
- ③ いっとき避難場所で班長が担当全戸の避難人員を確認する(班長不在の場合は班長代理を決める)
- ④ 所在確認出来ないお宅(「避難済」札なし)の確認を、班長指示の2名にて上階から順に行う(インターホンを鳴らし、玄関ドアを叩いて確認する)
- ⑤ 班長は上記④の報告を受けて「安否確認シート」を完成させて防災幹事に報告する(「安否確認シート」の完成とは、下記の2)に示すトイレの使用可否結果が含まれる)
- ⑥ 防災幹事は全班の「安否確認シート」を災害対策本部に報告する

2) 安否確認作業と並行して、トイレが使用出来るかの確認を行う

- ① 棟長又は防災幹事が地下室(電気室)にある染色剤とマンホール開け用フックを取りに行き、各班長に手渡す(マンホール開けフックは各階段で順に回してマンホールの蓋を開けておく)
- ② 班長はいっとき避難場所に避難した最上階のお宅2軒に染色剤を渡す
- ③ 染色剤を受取ったお宅は通常の避難訓練通りにトイレから色水を流す
- ④ 1階に残った人がマンホールに流れてくる色水を確認し、班長は「安否確認シート」に記入する
- ⑤ マンホールの蓋を元に戻し、班長が「安否確認シート」を防災幹事に手渡す
- ⑥ 上記1)の⑥と同様に、防災幹事は全班の「安否確認シート」を防災対策本部に報告する
- ⑦ この時点で、防災幹事以外は一端自宅に戻り、災害対策本部の指示に従う

3) トイレ用マンホールと下水用マンホールの見分け方

8階建、11階建、14階建共に共通の見分け方です

トイレ用マンホールの蓋は黄色のマーキングがある

下水用マンホールの蓋は白色のマーキングがある

ただし、8階建、11階建の地下室につながる格子のある部分はトイレ用と下水用マンホールが共用になっています(マーキングは黄色と白色)

水洗トイレが使用不可の時のトイレ使用方法紹介

水洗トイレとしては使用出来ないが、トイレとして使用出来る場合

① 止水栓を閉めて、水の流れるのを防ぎます

まず、誤って水を流さないようにタンクへ水を入れる管の止水栓をドライバーで締めます。
そしてタンクの中の水を別の容器に汲み出して下さい。この水は貴重な水になります。
大切に使いましょう。

② ビニール袋で便器を覆います

便座を上上げて便器の下部分（便壺）の全体をビニール袋で覆います。
これは、便器が汚れた時に対応するためです。万一便器が汚れてしまったら、ビニールを外して
新しい袋で覆って下さい。便器を洗う水もないのでこのようにします。

③ 便壺の部分を黒のビニール袋で覆います

黒色のビニール袋を便壺の部分にかけて、便座ですれないように固定します。この袋の中に
「排泄」します。尿もそのまま袋の中にして下さい。

④ 排泄をします

排泄が終わったら尿を吸わせるために、市販の凝固剤、介護用の尿パット、おむつ、新聞紙
などがあれば、それを袋の中に入れて尿を吸わせます。
ペット用の「猫砂」や消臭剤があれば吹き付けます。匂いの元は尿ですので工夫して下さい。

⑤ 便座をあげて袋の口を縛ります

排泄が終わり防臭作業も終わったらビニール袋の口を縛ります。
排泄物の袋は普通ごみとは区分して保管して下さい。絶対に混ぜないで下さい。

⑥ 便器のふたを閉めます

便器のふたを閉めて終わりです。
手を洗う水も無いので、平時から手指を消毒するジェルや消毒液を備蓄しておいて下さい。
手指が汚染されて感染症の原因になると大変です。災害時には体力が落ちるので注意して下さい。

連絡事項

9月25日（日）に秋季防災訓練が予定されています。

また防災訓練の為に、事前の階段・班会議では防災幹事から各班長に渡された防災訓練マニュアル
に従って、班長は階段・班会議で説明して下さい。

- いざと言う時に助け合うことが出来る様、日頃からの付き合いを大切にしましょう。
- 「防災通信」をファイルして、防災マニュアルとして活用して下さい。
- 防災隊ホームページが開設され、インターネット「ドリーム燦燦」から見る事が出来ます。
- 各棟には簡易トイレが準備されています。組立ててからの使用となります。